

中学校第2学年 社会科指導案

単元名：幕府の政治改革

- 1 日 時 平成24年6月13日（水）14：50～15：40
- 2 対象学年 第2学年
- 3 単元名 幕府の政治改革（『新しい社会 歴史』 東京書籍）

単元について

本単元は、中学校学習指導要領社会（平成20年、以下「指導要領」とする。）の歴史的分野の内容「(4) 近世の日本」のエについて、「幕府の政治改革」の部分を取り出して構成したものである。

「幕府の政治改革」について、「指導要領」の内容の取扱いでは、「百姓一揆などに結び付く農村の変化や商業の発達などへの対応という観点から、代表的な事例を取り上げる」ことになっている。また、このことについて、学習指導要領解説社会編（平成20年、以下「解説」とする。）では、「財政の悪化などの背景や、改革の結果に着目させる」ことが示されている。

江戸時代前半（1603年から1720年頃）の日本では、戦乱が終わったことにより、農村では新田開発、都市部では城下町の建設が進んだ。江戸時代前半は、「開発の時代」とも言え、米の生産量も増加を続けて日本の人口は約2倍になった。しかし、1720年以降の江戸時代後半は、新田開発と城下町の建設とが一段落し、いわゆる「停滞の時代」となる。この時代、幕府は財政難の克服に大変腐心しており、三度の政治改革（享保の改革、寛政の改革、天保の改革）において、政権担当者（徳川吉宗、松平定信、水野忠邦）は農業を重視して年貢の収入増を目指した。また、儉約令を出すなどの綱紀粛正により財政難からの脱却を図った。

だが、新田開発を尽くし米の生産高の増加に限界が生じた上に、貨幣経済が発達した時代にあって、重農主義の政策は適当とは言い難い。人口が増加せず米の需要が一定となったこの時期、米が豊作となれば米価は値下がりし、米で支払われる武士階級の実質的な収入は減少した。一方、米価が高くなるのは凶作の年で、税収入を確保するために無理に年貢徴収をすれば、大規模な百姓一揆が発生してしまう。つまり、米を基盤とする年貢収入に依存する限り、幕府の収入は安定的に増加しないという状況が生まれていたのである。ところが、年貢収入への依存を続ける幕府は、米以外への課税を十分に行わなかった。そして、町人や百姓にも出された儉約令は、生活が苦しい武士階級には有効でも、米作以外で十分な収入を得ている町人や百姓にとっては、あまり意味がなく、不満だけが高まる結果となり、諸改革は失敗し、幕府政治の行き詰まりへとつながった。

このように、現代からみれば失敗と考えられる政策を続けた政権担当者の中にあって、田沼意次は重商政策を採用した。しかし、低い身分の出身であったことから、他の大名から受け入れられなかった田沼は「わいろ政治家」とのレッテルを貼られ、失脚する。結局、幕府は財政難を打開できないまま大政奉還に至り、税の基盤を米の生産高ではなく土地の価格に切り替えた明治政府は、維新後10年以降、財政バランスを黒字で維持することに成功した。

江戸幕府の政治改革は、その改革が実施されるに至った経緯や、失敗に終わったとされる理由を考察することによって、江戸時代の大きな流れが理解できる。さらに、それぞれの時期に重視された産業に着目することで、産業構造の変容とその要因についても理解できる。そこで、農村の変化や商業の発達と幕府の政治改革について、複数の歴史的事象を関連付けて考察することにより、歴史的な見方や考え方を養うことができるものと考え、本単元を設定した。

調査結果からみる課題

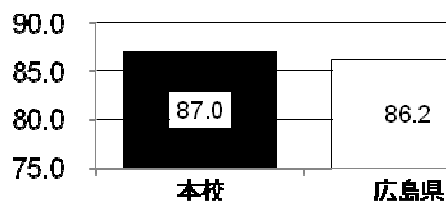
【平成23年度「基礎・基本」定着状況調査にみられる本校生徒の課題】

「1つのグラフ」は読めるが、「複数のグラフ」を「関連付ける」ことができない

H23年度「基礎・基本」定着状況調査

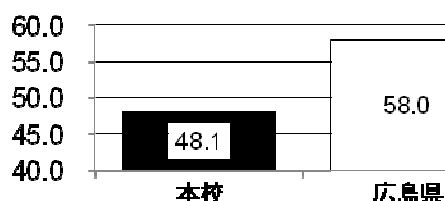
【数学】7

① 1つのグラフを活用し、グラフに描かれていない部分を計算する問題



【数学】7

② 2つのグラフと問題文とを関連付けて考察する問題



【課題となる思考力・判断力・表現力等】

複数のテキストを活用し、事象間の関連を考察して説明する力

【社会科（歴史的分野）における取組課題】

「歴史について考察する力や説明する力の育成」

【「解説」p.13（歴史的分野における改訂の要点）より】

- 思考・判断や表現などの活動を通じて、「歴史について考察する力や説明する力」を育てる
- 思考・判断や表現などの過程を通じて、学習内容についての理解や認識を一層深める
- 今回の歴史的分野の改訂では、言語活動の充実に関わるこの二つの面が共に重視されている

学習内容の構造化と焦点化

「理解」した学習内容の活用

● 「歴史について考察する力や説明する力」を育成するための言語活動の設定 ●

要約：多数の個別の知識を関連付けてまとめさせることにより、歴史的事象に関する法則性や概念を見出す力を養う。

説明：歴史的事象について自分の言葉で説明させることにより、生徒自身がどのように理解しているかが明らかにし、メタ認知の力を養う。

討論：自分の考えと他者の考えとを比較することにより、生徒の理解を深める。また、様々な見方や考え方にふれさせることで、より多面的・多角的な見方や考え方ができるようにする。

指導改善のポイント

【学習内容の構造化と焦点化】

個別事象の並列的な提示と記憶に終始させないよう、各時間の学習内容を重ねることで単元の学習のねらいが達成できるよう学習内容を整理する。また、理解すべき学習の焦点を明確にし、時代の特色をつかませたのち、要約や説明などの言語活動により表現させ、学習内容の習得を図る。

【「理解」した学習内容の活用】

「解説」に示されている通り、「理解」とは、思考や表現の過程なども踏まえて学習内容を十分に分かりながら身に付けることを意味する。よく考え納得して身に付けた学習内容を、説明や討論などの言語活動において焦点や脈絡をもった自分の言葉で表現できるよう、市川伸一による「教えて考えさせる授業」の習得サイクルの学習を取り入れ、自在に活用ができる「基礎・基本」を習得させる。

単元の目標

- 江戸幕府の農業振興策や諸産業の発達と幕府政治の行き詰まりとを関連付けることにより、江戸幕府の政治改革に対する関心を高め、意欲的に追究する。
- 江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まりの要因について、米の生産量と人口の増減、市場原理などを関連付けて考察し、時代の特色をふまえて、幕府の政治改革についての自分の考えを表現する。
- 図版、グラフ、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を活用し、産業・交通の発達、江戸幕府の政治改革などの特色をつかむ。
- 貨幣経済の浸透により社会がしだいに変化し、幕府政治が行き詰まっていたことを理解し、その知識を身に付ける。

指導と評価の計画

(全6時間 本時3/6)

次	学 習 内 容 (時数)	観点別評価					評価方法
		関心・意欲	思・判・表	技能	知識・理解	評価規準	
一	農業や諸産業の発達 (1) 新田開発を尽くすと商品作物が栽培され、諸産業が発達して百姓と町人が収入を得たことを理解する。				◎	・江戸時代の農業振興と諸産業の発達の要因を、時代背景と関連付けて理解している。	ワークシート
二	享保の改革と社会の変化 (1) 徳川吉宗が、法整備を行い、米価の安定を図るが、失敗に終わった理由をグラフと関連付けて読み取る。			◎		・江戸時代の人口のグラフと米価とを関連付け、米の生産量が増えても幕府の財政難解消は困難であることを読み取っている。	ワークシート
三	田沼の政治と寛政の改革 (2) 田沼の政治と寛政の改革の概要と特色を理解し、2つの幕政改革の特色と時代背景とを関連付けて自分の考えを構築し、発表する。		◎		○	・田沼の政治と寛政の改革の概要と特色について理解している。 ・2つの改革の特色をふまえた上で、江戸幕府の政治改革について、自分の考えを記述している。	ワークシート ワークシート
四	外国船の出現と天保の改革 (2)	◎			○	・前次までの学習内容と大塩平八郎の乱や天保の改革とを関連付け、幕府政治に対する関心・意欲を高めている。 ・外国船の接近とそれに対する幕府の対応について知り、幕府に新たな課題が生じたことを理解し、その知識を身につけている。	

本時の学習

(1) 本時の目標

○田沼の政治の概要と特色について理解する。

○田沼の政治の特色と当時の幕府の時代背景等をふまえ、田沼の政治に対する自分の評価をまとめて発表する。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 前時までの学習内容を振り返る。			
○教師の質問に答え、これまでの学習内容について復習する。	○本時の学習内容に関わる既習内容と、本時の学習内容（教科書の太字を中心に）を、空欄補充問題として事前に取り組みしておく（授業前に、取組状況と理解状況を確認しておく）。 ○江戸時代前半と後半の時代背景、享保の改革について、簡潔に振り返る。 ○黒板に江戸時代の人口推移のグラフを貼付し、キーワードを示してまとめる。		
2 田沼の政治についての説明を聞く。【教師からの説明】			
○田沼の政治についての説明を聞く。	新しい学習事項 ・株仲間の奨励、特権の授与と営業税の徴収 ・長崎貿易の活性化（銅の専売制、俵物の輸出拡大、蝦夷地の調査） ・印旛沼の干拓 ※ 理解確認課題を予告してから説明する。		
3 田沼の政治の特徴について説明し合う。【理解確認課題】			
○各自でワークシートに記入したのち、記述内容を説明し合う。	○「農業の重視」「商工業の重視」「身分制の強化」「儉約」などのキーワードを提示し、田沼の政治に最もよくあてはまるものを選ばせる。 ○個人で記述させたのち、隣の席の生徒に記述内容を説明させる。 ○選んだキーワードはどれかを挙手させ、全体の理解状況を確認する。全体として理解度が低い場合には説明を追加する。	○田沼の政治の特色である「産業の重視」を選択し、大きな事実誤認なく選択理由を説明している。 【知識・理解】	ワークシート
Cの生徒に対する手だて 1つの事実を根拠に記述している生徒→複数の事象を関連付けて記述させる。 事実を誤認している生徒→個別に対応し、事実を正しく理解させて記述させる。			

4 田沼の政治の評価について話し合う。【理解深化課題】

田沼の政治は成功？失敗？どちらだと思いますか？

【教科書の記述】
 この時代は、商工業が活発になり、自由な風潮の中で学問や芸術が発展しましたが、地位や特権を求めてわいろが横行しました。また、1782（天明2）年に起こった天明のききんは、翌年の浅間山の大噴火などによる凶作で、全国に広がりました。各地で百姓一揆や打ちこわしが起こり、意次は老中をやめさせられました。

○ワークシートに記入させたのち、発表させる。

予想される生徒の発言

- ◇商工業が活発になって、学問や芸術が発展しても、わいろが横行したり、百姓一揆や打ちこわしが起きたりしているから、失敗だと思う。
- ◇商工業に力を入れて、商工業が活発になっているのだから、成功だと思う。
- ◇「やめさせられた」とあるのだから、「失敗」ということなのだと思う。
- ◇「浅間山の大噴火などにより凶作が続く、天明のききんが起きました。」とあるが、それは田沼の政治のせいではないと思う。
- ※噴火や凶作、ききんに関する発言を出させた際に、全体に切り返し、考えを深めさせる。

【切り返し発問】 噴火やききん（凶作）は幕府政治の責任なのだろうか？

- ◇噴火やききんが起きたのは幕府のせいではないが、それに対する備えが十分でなかったのだから、田沼の政治はやはり失敗だ。
- ◇噴火やききんを幕府の責任にするのはおかしい。商工業が活発になれば、財政難の改善につながるのだから、田沼の政治は成功だと思う。

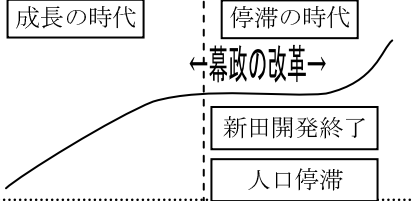
5 本時の学習内容を振り返る。【自己評価活動】

<ul style="list-style-type: none"> ○まとめの説明を聞く。 ○ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○田沼家に対する江戸幕府の対応について解説するとともに、歴史学者による田沼の政治の評価について説明する。 ○他の生徒の考えを踏まえて再度判断させ、理由を記述させる。 ○「本時のまとめ」が、「がんばったこと」や「感想」だけにならないよう、「分かったこと」「よく分からなかったこと」を記入させる欄を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○田沼の政治の特色をふまえて自分の考えを構築し、記述している。 【思・判・表】 	ワークシート
--	--	---	--------

板書計画

《田沼の政治は失敗か!?!》 田沼の政治の特色を理解し、田沼の政治の評価をまとめよう。

江戸時代の人口推移のグラフ



商工業を重視せよ!



老中 田沼意次

田沼の政治

- ・株仲間の奨励
→特権と営業税
- ・長崎貿易の活性化
銅の専売制, 俵物の輸出
蝦夷地の調査
- ・印旛沼の干拓

百姓：米→商品作物

※もうかる

→商工業の発達

幕府：豊作→米価下落

不作→年貢入らず

※財政難

この時代は、商工業が活発になり、自由な風潮の中で学問や芸術が発展しましたが、地位や特権を求めてわいろが横行しました。また、1782（天明2）年に起こった天明のききんは、翌年の浅間山の大噴火などによる凶作で、全国に広がりました。各地で百姓一揆や打ちこわしが起こり、意次は老中をやめさせられました。

田沼の政治は成功？失敗？

【成功】

- 株仲間, 営業税
- 商工業活性化
- 財政難に対応

【失敗】

- わいろ 百姓一揆
- 打ちこわし

●噴火 ききん 凶作

→やめさせられた

田沼のせい?

生徒からの意見を使ってまとめる

ワークシート

() 月 () 日 () 校時	
() 年 () 組 () 番 名前 () ()	
確認課題	
() 身分制の強化 (○) 商工業の重視	理由
() 農業の重視 () 儉約	
深化課題	
自分の考えをまとめよう	
今日の授業で「分かったこと」「よく分からなかったこと」を書きましょう	
今日の授業はたのしかったか	今日の授業は理解できたか
←Yes 4 3 2 1 No→	←Yes 4 3 2 1 No→

() 月 () 日 () 校時	
() 年 () 組 () 番 名前 () ()	
確認課題	
() 身分制の強化 (○) 商工業の重視	理由 商工業者をもうけさせ、そこから税をとろうとしているから。
() 農業の重視 () 儉約	
深化課題	
失敗だと思う。わいろが横行しているし、百姓一揆や打ちこわしが各地で起きていて田沼は「やめさせられた」とあるから。	
自分の考えをまとめよう	
ききんや噴火まで田沼の政治の責任にするのはちょっときびしい(運が悪い?)と思う。商工業は活性化されていて、財政難を改善したいという、やりたいことはできているのだから、成功と言えるのではないかと思う。	
今日の授業で「分かったこと」「よく分からなかったこと」を書きましょう	
田沼が自分でやめるのなら分かるけど、なぜやめさせられなければならなかったのだろうか?	
今日の授業はたのしかったか	今日の授業は理解できたか
←Yes 4 3 2 1 No→	←Yes 4 3 2 1 No→

予想されるワークシートへの記入